



当然のことながら
 国語の表記は
 漢字仮名交り文に
 することを
 前提として……

と挨拶で
 述べたことによ
 って事実上
 富三博士の提案が
 確認されたこと
 になりました



表音派・表意派の
 争いに結着が
 つきました

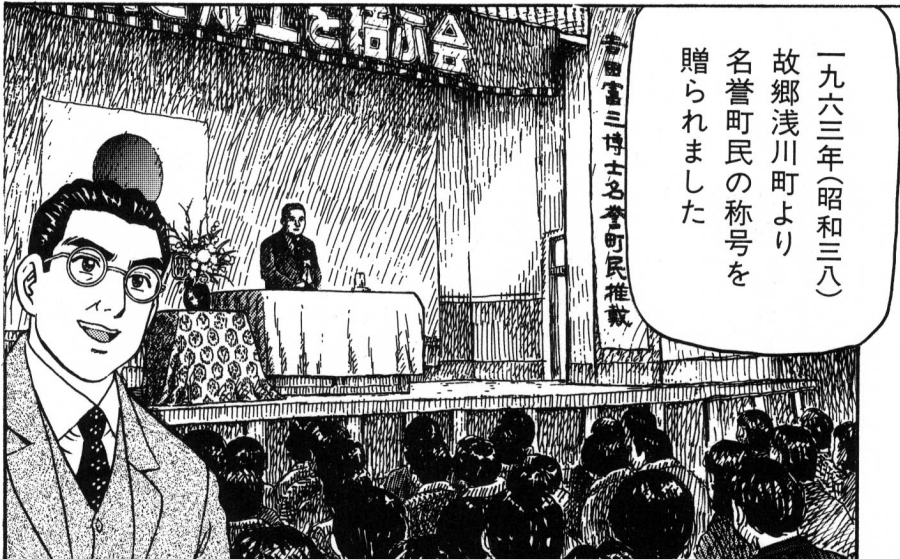
富三博士の
 果たした役割は
 大きいものが
 ありました

ローマ字・カナ文字による国語表音化には終止符がうたれ

a	i	u	e	o
ka	ki	ku	ke	ko
sa	si	su	se	so
ta	ti	tu	te	to
		nu	ne	no
		hu	he	ho

アイウエオ
 カキクケコ
 サシスセソ
 タチツテト

漢字制限も
 緩和に向かい



一九六三年(昭和三八)
 故郷浅川町より
 名誉町民の称号を
 贈られました

富三博士名誉町民推戴